

### 【高校受験でわかる受験作戦】

久留米自習室に通う中学1年生、2年生は圧倒的に私立中学の生徒さんが多いです。私立中学の勉強が難し過ぎるため、学校でわからない問題を大量に質問に来ます。中学3年生は、高校受験のため、公立中学の生徒も同じぐらいの人数になります。

県立高校入試は、全教科満点を狙いに行ける易しい問題であるために、中学入試や大学入試ほど、「戦略・作戦」は必要ありません。

一つ挙げますなら、「明善高校受験者の国語の点数は低く、他の高校の受験者の国語の点数は高い」のは、なぜ？という点ですね。

これは、国語の「作文」の添削で、明善高校は非常に辛く、ちょっとした誤字・脱字でも、大幅に減点されます。逆に、他の一般の公立高校などでは、少しでも文を書いておけば、大幅に点数がもらえるからでしょう。

よって、私は作文添削には力を入れてきました。

水曜日の19時までの国語の先生と、土曜日の英語の先生は、作文の添削もやっておりますので、私より上手に指導されています。

特に、土曜日の先生は、昔久留米高校で教頭先生などをされておりましたので、大変勉強になりますよ。

例えば昔、明善高校に合格した教え子ですが、「放置自転車について書け」という過去問で、「ものを大切にする教育が必要だ」と書いて持って来ましたが、不合格になるでしょう。

これは例えば、北朝鮮の船などが日本の自転車を山積みにして出港しているように、「もの余りの日本のような国は、もの不足の国々に、不用品を寄付する」など書いて欲しいですね。国語の力がある生徒たちは、中高一貫校にドンドン流れていますから、公立高校受験のトップレベルの生徒でも、作文添削は合否にかかわります。

特に、国語の作文添削指導は、力を入れているポイントの一つですね。

平成25年に、柳川高校と久留米学園高校がE判定だった生徒は、公立高校に合格しましたが、そこでたくさん点数が取れたのが大きかったと思います。

逆に、平成26年に南筑高校に合格した生徒は、国語が飛びぬけておりましたので、国語は明善高校受験生と同じ教材で勉強させました。

しかし、数学が小学校の内容からつまづいておりましたので、小学生の算数プリントを平行してさせました。

この生徒には、数学が難しい私立高校を受験させました。

明善高校を受験した教え子たちが、毎年「数学が難しすぎる！」と言っている高校です。

そうすると、そのような高校では、「数学が苦手な生徒と、得意な生徒の点数に差がでない」わけです。

ですから、数学が不得意な生徒であればあるほど、そういう私立高校を受験すると、逆に合格するわけですね。